

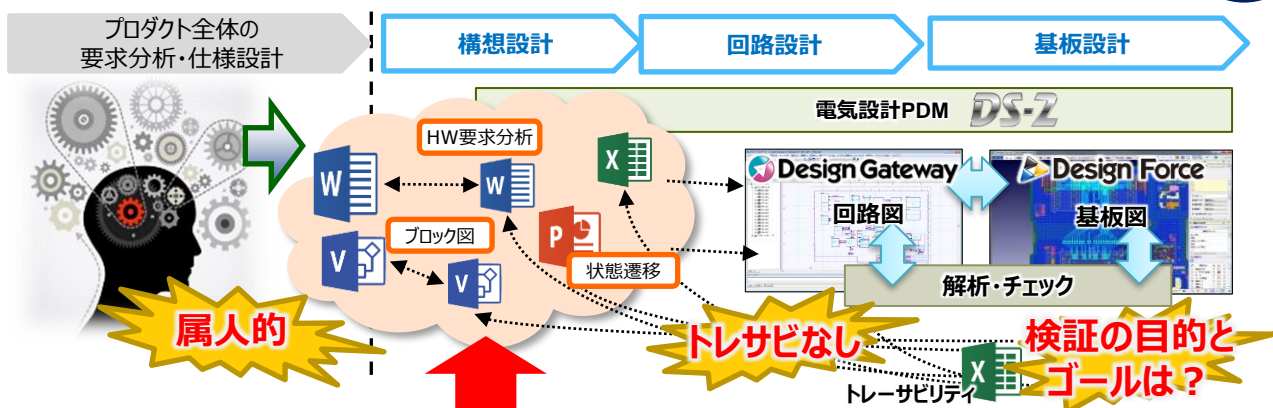
電気設計における
要求/検証の可視化・トレーサビリティ向上



NEW!

Why GENESYS CR?

電気設計上流工程における課題

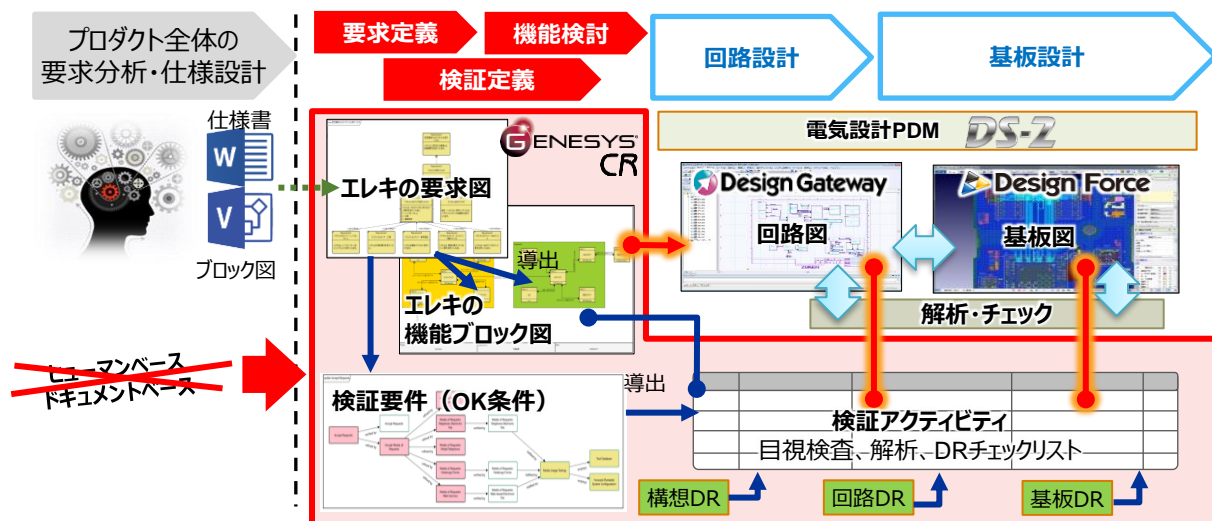


ヒューマンベース/ドキュメントベース

- ✓ プロダクト要求と電気設計者の認識のギャップによる**手戻りのリスク**
- ✓ 設計の導出背景・検証計画が不明確であることによる**設計品質の属人化**
- ✓ 設計変更時における要求・設計結果を横断した影響範囲特定が困難、**トラブルの原因に**

GENESYS 4CRで要求/検証の可視化、トレーサビリティ向上

- ◎ 電気における要求と機能の整合性を保ちながら設計を進めることにより、**設計品質の早期作りこみ**を実現。
- ◎ 設計ノウハウがIP化され、経緯・意図（導出元の要求・機能）が関連づくことにより**技術伝承の促進**に寄与。
- ◎ 回路変更による影響範囲が特定されることによりプロダクト要求との齟齬で発生する**手戻りを未然防止**。
- ◎ 設計結果に紐づく要求、検証要件が網羅・可視化されることにより**設計妥当性判断・DRの効率化**に貢献。



GENESYS-CR(仮称)とは

【電気設計における要求分析・トレーサビリティの強化】

GENESYS 4CRはCR-8000と連携し、電気設計における要求分析およびトレーサビリティを強化します。GENESYS 4CRで要求・検証・機能とCR-8000の設計物を紐づけることにより、**設計のリードタイム短縮・手戻りのリスク削減・設計者の技術伝承**をサポートします。



● 要求分析と機能検討

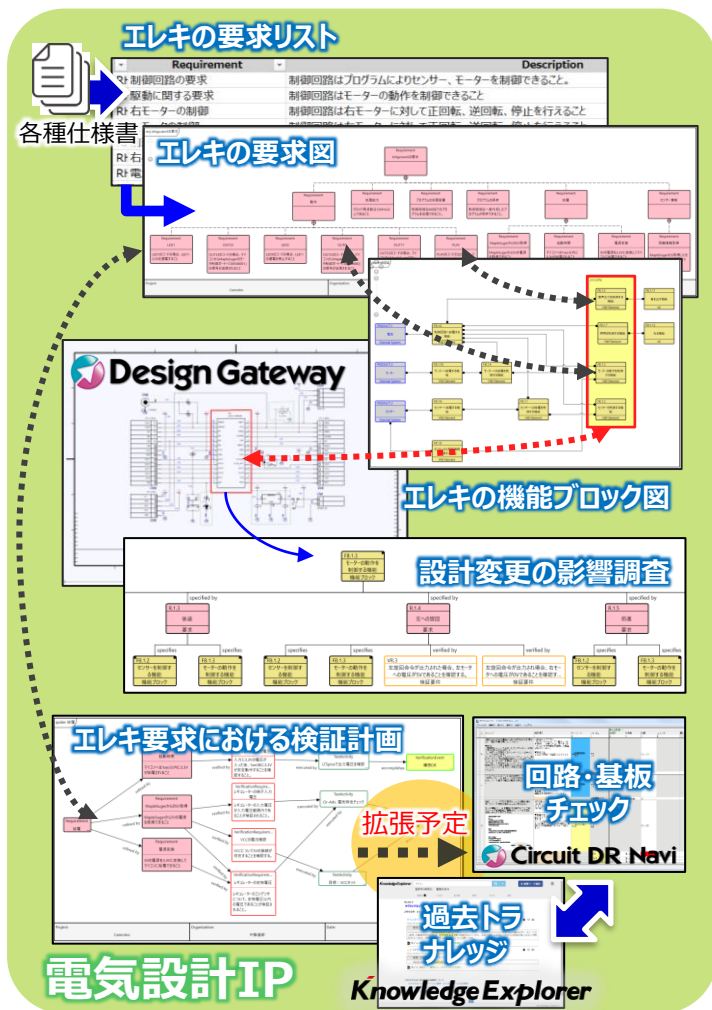
電気設計における要求を構造化して整理します。GENESYS-CRでは、要求のカテゴリーをテンプレートとして提供します。テンプレートは要求を整理・集約し、要求分析の平準化を促します。そして、要求が満足していることを確認しながら機能検討を行うことにより、要求と設計結果のギャップを軽減します。

● 要求－機能－回路の関連付け

機能ブロックとDesign Gatewayで作成された回路（ブロック、シートまたはフレーム）との関連性を保持することができます。回路変更における要求・機能への影響範囲をツリー形式で参照できることにより、要求と設計結果の認識違いを防止し、手戻りのリスクを軽減します。

● 要求を網羅する検証計画

エレキ要求を満たすことを検証するためのOK条件を「検証要件」として定義します。より具体的な検証作業やDRなどの検証イベントを定義し、設計上流における網羅的な検証計画策定を支援します。これらの情報はGENESYSのデータベースに集約され、要求と設計結果、要求と検証結果が横断的に把握できます。



お問合せ先：E-mail ▶ process-innovation@jp.zuken.com



株式会社 図研
www.zuken.co.jp/

■ センター南ビル
〒224-8580
横浜市都筑区茅ヶ崎中央32-11
TEL:045-942-1911

■ 関西支社
〒530-0004
大阪市北区堂島浜 2-2-28
堂島アクシスビル 9F
TEL: 06-6343-1141(代)

■ 名古屋支社
〒460-0002
名古屋市中区丸の内 3-23-20
HF桜通ビルディング 6F
TEL: 052-950-3671(代)